医療法人　福翠会　高山病院　福岡県認知症医療センター

# センター便り

No　1
2023.10

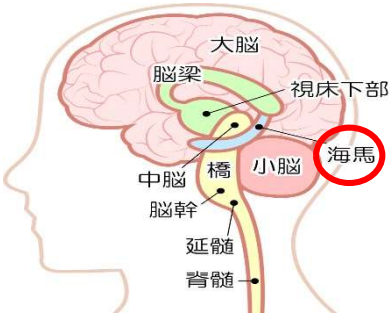
認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

## 特集1　アルツハイマー型認知症について

### ■アルツハイマー型認知症は

認知症の原因となる病気の中で最も多く、半分以上を占めています。
1906 年にドイツの精神科医であるアルツハイマー博士が記憶力の低下した患者さんについて報告したことにちなんで名付けられました。

### ■ 原因




原因として、いくつか説がありますが、アミロイド仮説という説が最も有力です。この説は、①アミロイドβというタンパク質が脳内にたまる、②それをきっかけにタウというタンパク質が脳の神経細胞にたまる、③集まったアミロイドβとタウが神経細胞を壊し、脳が萎縮していくというものです。
始めは海馬という記憶に関わる部位の周辺が萎縮し、進行とともに脳全体に萎縮が広がっていきます。

### ■主な症状

認知機能の障害は年単位でゆっくりと進行していきます。初期から１）～４）の症状を認めやすく、歩行の障害など身体的な症状はかなり進行するまで現れにくいのが特徴です。

#### 1)もの忘れ(記憶障害)

最も特徴的な症状です。初期の頃から、物を置き忘れる、しまい忘れる、同じことを何度も聞いてくる、最近体験した出来事や約束をすっかり忘れるなどの症状がみられます。忘れて答えられないとき、家族のほうを振り向いて確認したり、言い訳をして取り繕うような反応が目立ちます。初期には主に最近のことを忘れますが、進行とともに昔のことも忘れていきます。

#### 2)日付や場所がわからない(見当識障害)

自分の置かれた状況や人などを正しく認識することができなくなっていきます。初期の頃は日時がわからなくなり、進行とともに自分のいる場所がわからなくなり、重度になると家族の顔もわからなくなります。

### 3)計画を立てたり、物事を段取りよくこなすことができない(遂行機能障害)

手順を考え、効率よく作業ができなくなるため、料理が下手になる、買い物ができない、仕事や家事がこなせないなど日常生活の障害として現れます。

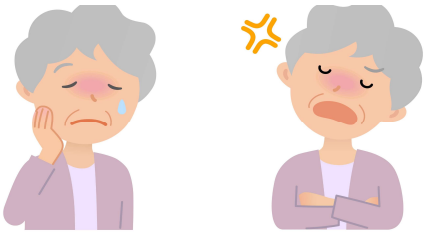
### 4)物の位置関係や距離感がわからなくなる(視空間認知障害)

慣れた道で迷う、頻繁に車の車庫入れで擦る、段差につまづいて転びやすい、服を正しく着られない、といった症状がみられます。

### 5)その他の認知機能の障害

・使い慣れた日用品がうまく使えない（失行）
・ボタンを留めるなど、細かな動きができない（巧緻運動障害）
・物の名前が思い出せない、会話を理解できない（言語障害）

### 6)精神症状(行動・心理症状)



特に初期から中期にかけて、妄想、怒りっぽさ、不安、うつ、意欲の低下、徘徊などの症状がみられることがあります。妄想の内容としては、「物を盗まれた」「（夫や妻が）浮気をしている」といったものの頻度が高いです。

## ■ 経過

認知症の進行とともに幅広い認知機能の障害がみられるようになり、程度も強くなっていきます。約 10 年ほどの経過で、最終的には自分では歩けなくなり、食事やトイレなど自分の身の回りのこともすべて介護が必要な状態になります。

現在はまだ治療によって進行を完全に止めることはできませんが、できるだけ進行を遅くするために、薬による治療や、予防も含めた生活環境の調整などをしていくことが大切です。

（認知症医療センター長　井ノ口　貴俊）

- No 2 では、特集 2 「脳血管性認知症について」を掲載いたします
- 認知症医療センター事務局では、「センター便り」に関するご感想やご意見・ご要望を承っております。お気軽に下記までご連絡ください

[編集・発行]
医療法人　福翠会　高山病院　福岡県認知症医療センター事務局

〒822-0007
福岡県直方市下境 3910-50　TEL　0949-23-0520　FAX　0949-24-0838
E-Mail　takayamaninchis@gmail.com　URL　https://nogata-fukusuikai.jp/